

鴨川市地域公共交通会議 令和8年度第1回会議

会議録

日時：令和8年5月29日(金)午後1時30分から

場所：鴨川市役所 4階 大会議室

1 出席委員

役職等	所属・職	氏名	備考
会長	鴨川市 副市長	平川 潔	
副会長	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 事務局 局長	牛村 隆一	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部 支部長（鴨川担当）	渡邊 剛太郎	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福浪 新一	
	千葉県鴨川警察署 交通課 課長	花香 拓人	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所 所長	飯塚 貴之	
	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	若林 大祐	
	鴨川市校長会 会長	高梨 美佐子	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅 駅長	石井 孝典	
	利用者代表	平野 元美	
	利用者代表	渡邊 陽南子	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏名	備考
	日東交通株式会社 運輸部 部長	高橋 晴樹	
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 バス部 部長	深山 宏樹	
	利用者代表	三橋 悦子	

2 事務局

所属・職	氏名	備考
鴨川市企画政策課 課長	小柴 則明	
鴨川市企画政策課 課長補佐	田中 仁之	
鴨川市企画政策課 住み続けたいまちづくり係 係長	高梨 泰里	
鴨川市企画政策課 住み続けたいまちづくり係	白山 直樹	

## [配布資料]

- ・ 席次表、出席者名簿、委員名簿
  - ・ 資料1 鴨川市コミュニティバス 令和7年度運行実績について
  - ・ 資料2 チョイソコかもがわ 令和7年度運行実績について
  - ・ 資料3 令和9年度「地域間幹線系統確保維持計画」(案)について
  - ・ 資料4 令和9年度「地域内フィーダー系統確保維持事業」の認定申請(案)について
  - ・ 参考資料1 チョイソコかもがわ江見公民館の移転について
  - ・ 参考資料2～3 公共交通乗り方教室 実施結果
  - ・ 参考資料4 鴨川市地域公共交通計画策定業務について
- 

## ■議事要旨

### 1 開会(午後1時30分) 司会 企画政策課 田中課長補佐

- ・ 配布資料の確認
- ・ 委嘱状交付
- ・ 会議の成立、公開の報告
- ・ 会長、副会長選任・・・会長に平川委員、副会長に牛村委員が就任

### 2 会長あいさつ

(要旨)

本日はご出席をいただき感謝を申し上げます。今年度の会議として最初となる。本日の会議では、令和7年度の市コミュニティバス、チョイソコかもがわの報告に加え、令和9年度フィーダー系統や地域間幹線系統に係る計画の認定申請など2件のご審議をお願いしたい。皆様には、忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

### 3 議事 議長 平川会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、石井 孝典 委員を指名

報告案件1 鴨川市コミュニティバス及びチョイソコかもがわ 令和7年度運行実績について

(事務局から、資料1、2に即して説明)

福浪委員：1点質問する。チョイソコかもがわについて、利用者の合計が延べ約5,000人だが、登録者の1,800人のうち何人が利用しているのか。

事務局：チョイソコかもがわは、長狭地域ではじまり、地域の方の力で登録者数を増やす動きもあった。また、本格運行になる際の指標にし、登録者を増やした経緯もある。登録者1,800人全員が使用しているわけではないので、令和7年度の利用者人数は調べて会議録とともに報告する。

<報告> ・登録者 1,821人 令和7年度利用者 335人 利用率18.4%

協議案件1 令和9年度 地域間幹線系統確保維持計画（案）について  
（事務局から、資料3に即して説明）

福浪委員：1点質問する。計画別紙（別表）の目標達成するために行う事業で、令和8年10月以降新たに実施するようなものがもしあれば教えてほしい。

事務局：新規事業はなく継続してやっている事業となる、また、JRの時刻表などの改定があった場合はそれに合わせて路線バスの時刻表をどうするかというような協議が発生する。

資料のとおり承認。

協議案件2 令和9年度 地域内フィーダー系統確保維持事業に係る地域公共交通計画の認定申請（案）について  
（事務局から、資料4に即して説明）

質疑応答なし

資料のとおり承認

#### 4 その他

石井(孝)委員：市の広報等で案内しているが、6月2日-3日に内房線の安房鴨川駅～館山駅間で、日中帯に集中工事を行わせていただく。内房線の工事はこれで3回目となる。内房線や外房線は赤字線区。通常、夜間で人工を雇って工事や検査等を行うが、昨今の人員不足や物価の高騰など諸々勘案すると相当な費用がかかる。地域の皆様には大変ご不便をおかけしてしまうが、問題を少しずつ解決できるよう、日中帯の明るい時間帯で実施させていただく。

昨年の秋には3日間で太海駅で跨線橋をきれいに撤去することができた。また、線路の枕木の交換をさせていただいた。今回も3日間の予定でいたが、周辺の各高校と日程を調整させていただいて、2日間となった。成田線も同じように3日間工事を行い無事に終わらせていただいた。台風が来るようだが、今のところ予定どおり実施をさせていただく予定。

今回は代行輸送は行わない。大変ご不便をおかけするが、路線バスをご利用いただくよう、駅の方でもご案内をさせていただく。当社も1日でも長く内房線は、地域の足として使っていただけるように維持していきたいというふうに思っているので、引き続きのご協力をお願いしたい。

平野委員：今の鴨川駅長の話と、参考資料2・公共交通乗り方教室を拝見して、自分もバスや電車を使う時に、ボタンを押して乗降するなど、今までこの地域にはなかった電車の乗り方をそばにいた男子高校生に聞いた経験がある。子供たちもそうだが大人の乗り方教室もあってもいいと考えた。社会福祉関係のご賛同もいただいて、乗り方教室+外に出られるような、例えば買い物ツアーで乗り方も楽しめるといような企画があってもいいと思った。ご検討をお願いしたい。

事務局：事務局から3点報告する。

参考資料2は、1月23日と2月3日に行った公共交通乗り方教室の電車版の内容。安房鴨川駅石井駅長をはじめ、JR安房鴨川駅の皆様のご尽力をいただき実施できた。鴨川小学校の6年生、西条小学校の4年生、天津小湊小学校の4年生、長狭学園の3年生が参加。切符の買い方や車内でのマナー、優先席の説明や緊急非常ボタンの使い方、ドアの開け閉めなど、子どもたちにとっては普段体験できない内容で興奮している様子が伺えた。参考資料3は、

2月5日に行ったバス・タクシーの乗り方教室の様子。東条小学校の3年生が参加、日東交通の皆様、本多社長をはじめ、鴨川タクシーの皆様のご協力のもと、バスの切符の買い方からバス停の待ち方、お金の支払い方を教わった。また、福祉タクシーには、実際に子どもたちが車椅子に乗って乗車体験を行った。併せて公共交通の現状なども説明し、大変有意義な内容となった。今年度も是非皆様のご協力を得て開催したいと思うので、その際にご協力をお願いしたい。

また、平野委員からあった大人の電車の乗り方教室については、駅長と一緒に考えたいと思う。

石井(孝)委員：乗り方教室は、先にバスとタクシーで行われていた。この会議で JR は乗り方教室をやっていないということがわかり、できることであれば協力をしたいということで、今年で2回目となった。参加した小学生とその保護者の方のアンケートを拝見して、子どもは非常に楽しかったとか、勉強になったという内容でよかったが、保護者の方のアンケートは、やはり「大人が電車に乗っていないので、子どもに電車の乗り方を教えられない」という意見があり、これは何とかしなくちゃいけないと話をした経緯もある。小学生向けの乗り方教室は継続して、その他に大人向けの乗り方教室を行うため、まだ勉強段階だが、多くの方に電車に親しんでいただけるイベントができないかと考えている。もしそれが形になったら、ぜひご参加していただきたいと思う。

また、乗り方教室だけではなくて、大人向けというか年配者の方が多いですが、年に1回、公民館でえきねっと相談会を行っている。今年も13名の方が参加して、全員がネットの申し込みの仕方や、来週旅行に行く方がその場で切符を申し込んだりした。またそういったものを幅広く PR して、多くの方に参加いただけるようにしていきたいと思う。

事務局：事務局から2点目。参考資料4は、交通計画策定に向けた業務の実施概要を記載している。

概要は、令和4年3月に策定した地域公共交通計画が令和8年度をもって5年間の計画期間の終了を迎えることから、公共交通の効果的な運用について、基本方針や目標、目標を達成するための具体的な施策等を反映した令和9年度を初年度とする次期公共交通計画を策定する。

この交通計画の策定については、公共交通活性化及び再生に関する法律に基づく本市の責務であり、路線バス等の運行維持に不可欠な国庫補助金を継続、受給するための必須条件となる。交通計画の策定を進めるため、委員皆様方には今後の交通会議においてご審議をお願いしたい。

事務局：事務局から3点目。今後の公共交通の再編の方向性についてお伝えしたい。

本市においては、現行の地域公共交通計画に則り、利用者あるいは各事業者の皆様方のご理解、ご協力のもと、また本地域公共交通会議のご審議のもと、持続可能な公共交通の再編に取り組んできた。

具体的には、路線バスの統廃合、あるいはチョイソコかもがわの本格運行、コミュニティバスの路線系統の見直し、こういった手法により、再編を展開してきた。特にチョイソコかもがわは、長狭地区の実証運行から始まり、天津小湊地区、江見地区にもエリアを拡大して実証を継続、昨年度からは本格運行に移行して、現在に至る。こちらについては、ドア・ツードアのデマンド型乗り合いタクシーで、高齢化の進む本市においては、必要不可欠な交通手段として認知されてきた。こうした中、鴨川地区へのエリア拡大、あるいは、現行3地区での相互の往来、こうした拡充や改善を望む声も非常に多くなってきているということも事実として認識している。こうした要望を踏まえて、市議会の場でも関心高く議論等がなされている。また、昨今、国にお

いては、交通空白地解消を図ること、こちらを重点的に進めるよう、地方公共団体に対して要請があり、今お伝えした要望等、こういった状況を鑑みて、諸々の調整、あるいは認可のタイミング等にもよるが、差し当たり来年度から、チョイソコかもがわの市内全域化の運行に向けて進めたいと考えている。

ただし、その一方で、闇雲にサービスを拡充すること、こちらについては、本市の厳しい財政状況もあり、こちらをさらに悪化させる懸念もあることから、チョイソコかもがわの全域化と並行して、コミュニティバスの在り方、あるいは効果的な財源確保の手法、こういったところを改めて検証する必要があると考えている。只今お伝えした再編の方向性については、近く市議会、あるいは市民の皆様への説明会、こうした機会を通じてお示ししながら、ご意見等を頂戴したいと思っており、改めて再編方針案として、取りまとめていこうと考えている。こちらの取りまとめた再編方針案については、次期公共交通計画の策定と併せて次回以降の地域公共交通会議の議題として、ご協議をお願いしたい。

平川会長：再編の方向性や新たな公共交通計画については、この会議の場でご協議をさせていただき、皆様のご意見をいただきながら進めていきたいので、引き続きよろしくをお願いしたい。

## 5 閉会（午後 2 時52分）

以上

---

令和 8 年 6 月 22 日

会議録署名人 石井 孝典